

北信越弓道選手権大会 観戦記

11/8(日) 於: 県営富山弓道場

大会当日は小雨の降る、寒い日だった。
石川県からは総勢7名の応援団であった。

団体戦

女子有段者の部、称号受有者の部は、1立目から石川県が終始リードをし、1位を勝ち取った。
男子有段者の部は長野県と福井県が優勝を争い、石川県、新潟県、富山県んで3位を争う展開であった。
3部門12射終了時点で、石川県は男子有段者の部で新潟県と4位、5位決定の競射となった。
この時点で長野県は14点獲得が決定していた。
競射で4位になれば石川県も14点となり、上位点の数で5年ぶりの総合1位を獲得できる状況だった。
射詰め1本目は3中対3中で再度競射となる。
応援にも力が入る展開だった。
射詰め2本目で2中対1中で石川県が4位となり、久しぶりの総合1位となった。

個人戦

女子有段者の部は、過去に優勝経験のある石川県の山口選手と咲川選手の一騎打ちとなった。
射詰めは1本目で決着がついたが、どちらが勝ってもワン・ツーフィニッシュという嬉しい結果である。
称号受有者の部は、2立目終了時点で石川県の中村選手、曾山選手、
そして2連覇中の長野県の平澤選手が8本詰めていた。
3立目の1本目で中村選手が外し、3本目を曾山選手が外した中で、平澤選手は皆中し3連覇を決めた。
中村選手と曾山選手の2位・3位決定戦の遠近競射は、審判を悩ますような同じような箇所到的中したが
数ミリの差で中村選手が2位となった。

総括

10月に選考会をし、その後2回の練習会を行って大会に臨みました。
実力を出せた選手もいれば、調子が今一つの選手も見えました。
ただし、それぞれの選手の1本1本の積み重ねが、総合優勝につながったと思います。
水橋会長、木下理事長も審判の方、お疲れ様でした。